問トライアル
TEL:072-369-3539

TRIAL

対応:200系NARROW

ボディのプレスラインが巧くフロントとリアのスポイがわかる。ノーマルの良さを最大限生かし、実用的に仕上げられているのがトライアルのセオリだ

GT系で名を馳せるあの『トライアル』が、ハイエース界への進出を開始。足回りなどの機能系のみにとどまらず、独自のセンスを発揮したエアロプログラムまでもをリリースしてきたのだから注目だ。仕上がりはもちろん、トライアルらしいスポーティなものとなっており、ハイエースの新たなスタイリングとしても要チェックといえそうだ。

構成はフロントがリップ、リアがバンパーという主流のあしらいを採用。サイドこそシンプルな装いが採用されているが、フロントにはアグレッシブな大型ダクトを設けるなど、トライアルらしい躍動感がぎっしりと詰め込まれたという印象を受ける。またリアのボトムにはレーシーなディフューザー調デザインが施されていて、このパートだけを塗り分けてやれば、そのスポーツ感はさらに急上昇。リアル度の高い走り系スタイルへと、200系を進化させることがOK。

とはいえ、基本的には純正のボディデザインを生かしたナチュラルな仕様となるため、装着時にも違和感ややりすぎ感はゼロ。フロントリップこそ突出されるものの、その他パートは純正よりも縮小する方向で成型されているため、実用性や取りまわし性でも優秀さを発揮してくれることは間違いない。

ストレートにスポーツテイストを薫らせてくれるスタイルだけに、街中はもちろん、例えばサーキットなどのモータースポーツシーンにもしっくりとハマってくれそうな予感。カーゴを広く使えるオリジナルキットなども用意されているから、トランポと考えても優秀だ。

両サイドに大型のダクトをレイアウトして、レーシーな雰囲気があふれ出すフロントリップスポイラー。走り系のエアロを専門とするトライアルらしいアグレッシブなフォルムだ

オーバーフェンダーは、現在主流となっているデイトナナナスカーの225の組み合わせに対応出来るよう考案されたもの。ツライチで決めてカッコよく乗りこなしたい

オーバーハングとボトム方向に少し伸ばして押し出し感を強調しているが、基本はノーマルデザインを生かしたもの。使い勝手を考えて車高を下げても乗りにくい形状にしてある

リップスポイラーのサイドダクトには、メッシュのネットが付属していてスポーティな味わい満点。サーキットに似合うデザインなので、トランポ車に装着するとかなりグッド

ボディラインを受けて左右に大きく走るプレスラインが躍動感を強くアピール。ランスポーターをイメージしてデザインを考えたので、ステップレス仕様でおしゃれ度もアップ

シンプルにサイドのボトムラインをグッと引き締めてくれるサイドステップ。フロントとリアの持つ雰囲気を損なわずに、ボトムに統一感を持たせスタイリッシュにまとめ上げる

リアのハッチミラーを外すケースに応じて考案されたのがこのリアゲートスポイラー。単に穴をふさぐだけでなく、トータルでコーディネイトしてしまう辺りがトライアル流

リアバンパースポイラーのボトムは、ディフューザーを想像させるデザイン。ホワイト、シルバーならこの部分をブラックアウトすれば、更にスポーツな仕上がりを期待できる

真横から見ても分かるようにデパーチャーアングルもきちんと確保されているので、ヒットポイントもかなり少なそうだ。実用的な機能面も重視したトライアルらしいメイク

ANOTHER

カーゴスペースを広く使うことができるセカンドシートスライドレール(¥52,500)。スチール製で前後に約60cmのスライドが可能。ボディ加工なくカーペットの一部加工のみで取付可能。車検もOKで、専用フロアマットも有り。マフラーも現在製品化の予定。

AERO PARTS INFOMATION SHINKE

問シンケ TEL:072-553-3718

のは、スポーティなフェイスデザインと軽さに定評のあるグラムライツ57SXだが、このエアロならラグジー系ホイールとも相性は良さそうだ

オリジナルのマフラーカッター。イージーマフラーは当社の人気アイテムのひとつ。写真のAタイプの他に、斜切りデザインやパンチングメッシュでスタイリッシュさを押し上げるBタイプ(¥13,440)も用意